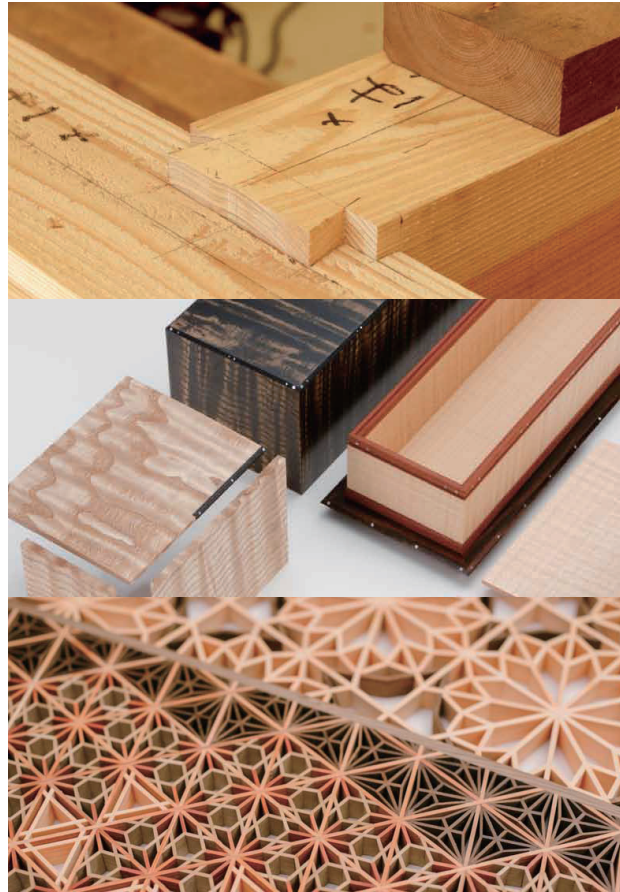


講演会

# 竹中大工道具館 2019 年度「技と心」講演会 木組とはなにか



1 | さまざまな木組

開催情報

名称	「技と心」講演会「木組とはなにか」
日時	2019年11月23日(土・祝) 14:00～16:00 (13:30開場)
会場	ラッセホール2階大会場(神戸市営地下鉄「県庁前」駅より徒歩5分) 〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8
講師	阿保昭則(大工棟梁/耕木杜代表) 須田賢司(木工藝家/人間国宝) 横田栄一(建具師/栄建具工芸代表)
司会	谷直樹(大阪くらしの今昔館館長)
定員	当日先着200名(申込不要)
公式サイト	<a href="https://www.dougukan.jp/event/detail.php?id=5ce607d57c1ad">https://www.dougukan.jp/event/detail.php?id=5ce607d57c1ad</a>

お問い合わせ

「技と心」講演会「木組とはなにか」広報事務局(竹中大工道具館内)  
〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1  
TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713  
E-mail: [kigumi@dougukan.jp](mailto:kigumi@dougukan.jp)

## 開催趣旨

日本の木組は、建築にとどまらず、建具や家具における指物、また工芸品の世界でも重要な技法のひとつです。それぞれの分野の職人が長い時間をかけて技を磨き、木組の強さや美しさを追求してきました。本講演会では、大工、工芸、建具と、木に関わるさまざまな職人の視点をとおしてその分野の職人ならではのお話を聞き、それぞれの職種における木組の特徴を対比させつつ、「木組」の多様性や意味、面白さを探ります。

## 講師プロフィール

## 阿保昭則（あぼあきのり）

1956年青森県出身。耕木杜（千葉県茂原市）代表。白神山地の麓に生まれ小学生の時に大工の鉋仕事に感動、中学卒業と同時に住み込みで大工の修行に入る。職人としての責任、仕事の質の高さを目指して2000年1月耕木杜を設立。自然の材料、自然の形の美しさにこだわり、異分野の仕事にも垣根を超えて交流し、手仕事の味が伝わる建築を心がけている。



2 | 阿保昭則氏

## 須田賢司（すだけんじ）

1954年、祖父・須田桑月から続く木工芸家に生まれる。1973年から父・須田桑翠に師事し、指物技法を習得。母方の祖父からは漆芸を学ぶ。2010年紫綬褒章受章、2014年重要無形文化財「木工芸」保持者（人間国宝）に認定。現在、群馬県甘楽町に工房を構える。ニュージーランドやスウェーデン、デンマークでのワークショップ等、海外文化交流にも力を注ぐ。



3 | 須田賢司氏

## 横田栄一（よこたえいいち）

1941年名古屋生まれ、長野県出身。栄建具工芸（長野県長野市）代表。父親は江戸指物職人であったが、16歳で建具の道に進み基礎を習得し、23歳で組子細工の道へ進む。25歳で独立、数多くの弟子を育てる。一般の建具職人がやりたがらない組子細工を主体に手掛け、一職人としての立場を堅持しつつ、組子で精緻な絵画を描く手法を確立する。



4 | 横田栄一氏

## 谷 直樹（たになおき）

1948年兵庫県出身。京都大学工学部建築学科、同大学院工学研究科修了。大阪市立大学名誉教授、大阪くらしの今昔館館長。日本建築史・住文化史・博物館学を研究。日本建築学会賞（業績）、日本建築学会教育賞（教育貢献）、日本建築学会著作賞など受賞多数。主な著書に『中井家大工支配の研究』、『いきている長屋：大阪市大モデルの構築』ほか。NHKドラマ「あさが来た」「まんぷく」などの風俗考証も担当する。



5 | 谷 直樹氏

## 司会プロフィール

## 広報用画像

- ・画像データ1～5 (JPEG) をご提供いたします。メールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

## お問い合わせ

「技と心」講演会「木組とはなにか」広報事務局 (竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713

E-mail：kigumi@dougukan.jp

- ・読者プレゼントとして本展図録5部または当館招待券ペア (2枚) 5組を提供することができます。
- ・その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。